

北陸地方整備局
記者発表・資料配付

・記者発表	平成16年11月19日
・資料配付	17時00分
日時	

件名	「平成16年新潟県中越地震」災害対策状況について(第48報) - 東竹沢地区の仮排水路の高さを、できるだけ下げる方向で見直します -
----	---

取り扱い	発表をもって解禁
------	----------

発表先	新潟県政記者クラブ 新県政記者クラブ
-----	-----------------------

発表概要	別紙のとおり
------	--------

問い合わせ先	北陸地方整備局 TEL(代表)025-266-1171 河川部河川計画課長 守安邦弘(内3611) 中越地震復興対策室 建設専門官 上原信司(内3616)
--------	---

東竹沢地区の仮排水路の高さを、できるだけ下げる方向で見直します

仮排水路の敷高を、現計画の EL155m から、施工可能な限り下げよう最大限の努力を致しますが、降雪期までの限られた時間の中で、現地の気象状況や、施工状況の変化、地震によって形成された地すべり土塊の特性など、不確定的要素があり、これらが今後の工事の進捗に大きく影響する可能性があります。

平成 16 年 11 月 19 日
北陸地方整備局

1. これまでの計画の概要

東竹沢地区の河道閉塞に関する緊急的な対応として、越流による決壊を防ぐことを目的に、以下の対策を実施することとしておりました。

(緊急排水路工) : ポンプで排水を実施する (19 日現在で 12 台稼働中)

(仮排水路工) : 融雪期における出水が流下可能な断面を有する、延長約 200m、呑み口の高さ EL155.0m、流下能力 37m³/s の仮排水路を、積雪に備えて 12 月中旬までに開削する

2. 変更後の計画の概要

仮排水路については、これまでの地すべり踏査結果より、現計画よりも更に掘り下げることが可能と判断されたことから、概要以下の通り、計画を見直します (別添図参照)。

また、水位を下げることについては、山古志村からも要請されているものです。

なお、実施にあたっては、施工時の地すべり状況等を監視しながら、実施致します。

(1) 仮排水路敷高及び断面を変更

河道閉塞上流の貯留水の水位を少しでも低くするため、仮排水路の呑み口敷高を、現計画の EL155.0m から少しでも低くする

流下能力を現計画の仮排水路 (37m³/s) 以上に確保し、出水時の安全度を少しでも高める

なお、断面等の構造については検討中。

(2) 仮設の排水管を設置。

仮排水路を効率的に施工するため、仮排水路施工に先立ち、仮設の排水管を設置する。

施工にあたっては、地すべり土塊に対する影響を考慮しながら実施する。

問合せ先: 北陸地方整備局 代表 025-266-1171

河川部河川計画課長 守安邦弘 (内 3611)

中越地震復興対策室 建設専門官 上原信司 (内 3616)

イメージ図

